

令和6年度 葬儀業務委託 仕様書

- 国立療養所星塚敬愛園（以下「園」という。）より葬儀の依頼があれば速やかに福祉課に出向き、以下の業務を行うこと。

1 委託期間

令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

2 祭壇設営及び遺体搬送業務

1) 福祉課職員の指示の下、以下の業務を行うこと。

①遺族、自治会委員及び宗教関係者と葬儀の打合せ（通夜、葬儀の日程調整）

*遺族との葬儀に関する調整については別添確認項目に沿って打ち合わせること。

但し、当園の確認基準が網羅できれば業者独自のマニュアル等を使うことも可能である。

2) 以下の業務を行うこと

①社員2名を配置し、祭壇の設営及び遺体を園内宗教会館へ搬送（宗教会館の開錠は福祉係が行う）園外の医療機関で死亡された場合は、当該医療機関から当園まで搬送すること。

②火葬場（きもつき苑）の予約

③住職の手配（死亡した入所者が元同愛会の場合のみ）

④市役所への死亡診断書の届出及び火葬許可の手続き（死亡診断書の記載は園職員が行う。）

⑤ドライアイスの手配

⑥霊柩車の手配

⑦遺影の手配（遺影用の写真は福祉課で準備する）

⑧生花及び果物の手配、通夜の折の菓子、漬物の準備

（注意事項）

1) 上記⑥から⑧の代金は、園の支払いとする。

2) 祭壇及び棺は、園保管のものを使用すること。

3) 献体等で葬儀をしない場合について⑤の代金は園の支払いとする。

3 仮通夜業務

仮通夜での弔問者の接待及び夜伽は社員2名で行うこと。

（8：30～17：15までは女性社員2名、17：15～翌8：30までは男性社員2名）

諸事情により、仮通夜業務が連続する場合があるので、余裕ある人員配置を行うこと。

香典を福祉課職員（福祉当直者）に毎日渡すこと。

4 本通夜（前夜式）業務

1) 宗教関係者と打合せをし、本通夜（前夜式）の司会進行を行うこと。

2) 式終了後参列した入所者及び遺族に菓子を配布すること。

3) 司会を除き男性社員1名及び女性社員2名を配置し、弔問者の接待を行うこと。

4) 夜伽業務は男性社員2名で行うこと。

5) 通夜終了後に香典を福祉課職員（福祉当直者）に渡すこと。

5 葬儀業務

1) 葬儀の司会進行（宗教関係者との打合せを行う。補助者として男性社員1名、女性社員2名を配置すること。）

2) 遺族に棺の持ち手がない場合は、その代行を行うこと。（園職員も協力するので指示をすること。）

3) 葬儀終了後の宗教会館の片付け・清掃を行うこと。

4) 必要な資機材等や弁当をバスに積み込むこと。（園職員も協力して作業するので指示をすること。）

5) 火葬場での接待業務を女性社員2名で行うこと。

ただし、歩行等の介助が必要な入所者が参列する場合は園職員を配置する。

6) 葬儀終了後に香典を福祉課職員（福祉当直者）に渡すこと。

6 その他

- 1) 葬儀の際に骨壺や箸等の資機材を確認し不足や劣化があれば福祉課職員に連絡すること。
- 2) 通夜、葬儀当日に宗教会館周辺の清掃を行うこと。
- 3) 受託者は、受託業務の全部を第三者（受託者の子会社（会社法第2条第3号に規定する子会社をいう）を含む）に再委託することはできない。

(本名：) 様

[illegible]